

| カリキュラム区分 | | 3カリ | | シラバス区分 | | 大学院 | | |
|--|---|-------|----|--------|------|---|----|----|
| 科目区分 | 科目コード | 履修時期 | | 開講専攻 | 選択区分 | 科目名（上段：和名、下段：英名） | 時間 | 単位 |
| | | 学年 | 学期 | | | | | |
| 専門分野 | M321 | 1年 | 後期 | 医療技術科学 | 選択 | 血液病態検査学演習 Specialized Seminar of Laboratory Hematology | 60 | 2 |
| 担当教員 | | | | | | | | |
| 竹内 一人 | 石田 也寸志 | 祇園 由佳 | | | | | | |
| 関連するDPキーワード（看護学専攻） | | | | | | | | |
| | ① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。 | | | | | | | |
| | ② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。 | | | | | | | |
| | ③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。 | | | | | | | |
| | ④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。 | | | | | | | |
| | ⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。 | | | | | | | |
| | ⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。 | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 関連するDPキーワード（医療技術科学専攻） | | | | | | | | |
| | ① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。 | | | | | | | |
| | ○ ② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。 | | | | | | | |
| | ○ ③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。 | | | | | | | |
| | ④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。 | | | | | | | |
| | ⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。 | | | | | | | |
| | ⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。 | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 授業目的 | | | | | | | | |
| 血液病態検査学特論で学習した内容を活用して、血液疾患の症例検討を実施し、臨床症状、各種検査所見等を総合的に考察することによって、疾病の理解を深める。自身の研究分野の動向や研究を進める能力を修得するために、血液病学及び血液検査学に関連した国内外の論文を検索し、興味を持った論文の講読を通して、研究手法、結果および考察の妥当性の評価・議論を行える能力を身につける。 | | | | | | | | |
| 到達目標（授業目標） | | | | | | | | |
| ① 各種血液疾患の症例検討を実施できる。 | | | | | | | | |
| ② 血液病学及び血液検査学に関連した国内外の論文を解析し、プレゼンテーション・討論できる。 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 授業計画（項目・内容与方法・担当者） | | | | | | | | |
| 回 | | | | | | | | |
| 1回 | ガイダンス（1）・論文検索の方法について講義する。・祇園 由佳 | | | | | | | |
| 2回 | ガイダンス（2）・論文検索の方法について講義する。・祇園 由佳 | | | | | | | |
| 3回 | 貧血（鉄代謝異常）（1）・鉄代謝異常による貧血症例の検討とそれに関連する論文の詳読を行う。・竹内 一人 | | | | | | | |
| 4回 | 貧血（鉄代謝異常）（2）・鉄代謝関連論文のプレゼンテーションおよび討論を行う。・竹内 一人 | | | | | | | |

| | |
|-----|--|
| 5回 | 貧血（溶血性貧血）（1）・溶血性貧血症例の検討とそれに関連する論文の詳読を行う。・竹内 一人 |
| 6回 | 貧血（溶血性貧血）（2）・溶血性貧血関連論文のプレゼンテーションおよび討論を行う。・竹内 一人 |
| 7回 | 造血器腫瘍（急性白血病）（1）・急性白血病症例の検討とそれに関連する論文の詳読を行う。・竹内 一人 |
| 8回 | 造血器腫瘍（急性白血病）（2）・急性白血病症例の検討とそれに関連する論文の詳読を行う。・竹内 一人 |
| 9回 | 造血器腫瘍（急性白血病）（3）・急性白血病関連論文のプレゼンテーションおよび討論を行う。・竹内 一人 |
| 10回 | 造血器腫瘍（急性白血病）（4）・急性白血病関連論文のプレゼンテーションおよび討論を行う。・竹内 一人 |
| 11回 | 造血器腫瘍（骨髄異形成症候群）（1）・骨髄異形成症候群症例の検討とそれに関連する論文の詳読を行う。・竹内 一人 |
| 12回 | 造血器腫瘍（骨髄異形成症候群）（2）・骨髄異形成症候群症例の検討とそれに関連する論文の詳読を行う。・竹内 一人 |
| 13回 | 造血器腫瘍（骨髄異形成症候群）（3）・骨髄異形成症候群関連論文のプレゼンテーションおよび討論を行う。・竹内 一人 |
| 14回 | 造血器腫瘍（骨髄異形成症候群）（4）・骨髄異形成症候群関連論文のプレゼンテーションおよび討論を行う。・竹内 一人 |
| 15回 | 造血器腫瘍（悪性リンパ腫）（1）・悪性リンパ腫症例の検討とそれに関連する論文の詳読を行う。・祇園 由佳 |
| 16回 | 造血器腫瘍（悪性リンパ腫）（2）・悪性リンパ腫関連論文のプレゼンテーションおよび討論を行う。・祇園 由佳 |
| 17回 | 造血器腫瘍（多発性骨髄腫）（1）・多発性骨髄腫症例の検討とそれに関連する論文の詳読を行う。・竹内 一人 |
| 18回 | 造血器腫瘍（多発性骨髄腫）（2）・多発性骨髄腫関連論文のプレゼンテーションおよび討論を行う。・竹内 一人 |
| 19回 | リンパ腫の類縁系疾患（1）・リンパ腫の類縁系疾患症例の検討とそれに関連する論文の詳読を行う。・祇園 由佳 |
| 20回 | リンパ腫の類縁系疾患（2）・リンパ腫の類縁系疾患関連論文のプレゼンテーションおよび討論を行う。・祇園 由佳 |
| 21回 | 小児の急性白血病（1）・小児急性白血病症例の検討とそれに関連する論文の詳読を行う。・石田 也寸志 |
| 22回 | 小児の急性白血病（2）・小児急性白血病症例の検討とそれに関連する論文の詳読を行う。・石田 也寸志 |
| 23回 | 小児の急性白血病（3）・小児急性白血病関連論文のプレゼンテーションおよび討論を行う。・石田 也寸志 |
| 24回 | 小児の急性白血病（4）・小児急性白血病関連論文のプレゼンテーションおよび討論を行う。・石田 也寸志 |
| 25回 | 小児の造血幹細胞移植（1）・小児造血幹細胞移植症例の検討とそれに関連する論文の詳読を行う。・石田 也寸志 |
| 26回 | 小児の造血幹細胞移植（2）・小児造血幹細胞移植症例の検討とそれに関連する論文の詳読を行う。・石田 也寸志 |
| 27回 | 小児の造血幹細胞移植（3）・小児造血幹細胞移植関連論文のプレゼンテーションおよび討論を行う。・石田 也寸志 |
| 28回 | 小児の造血幹細胞移植（4）・小児造血幹細胞移植関連論文のプレゼンテーションおよび討論を行う。・石田 也寸志 |
| 29回 | 小児の細胞療法（1）・小児急性白血病に対するCAR-T療法に関連する論文の詳読を行う。・石田 也寸志 |
| 30回 | 小児の細胞療法（2）・小児急性白血病に対するCAR-T療法に関連する論文の詳読を行う。・石田 也寸志 |

成績評価方法及び基準

課題レポートおよび発表内容・態度を併せて総合的に評価する。

竹内担当分野45%、石田担当分野35%、祇園担当分野20%で

評価は100点満点とし合計60点以上を合格とする。

| | |
|-------|--|
| 教科書 | 配布プリント。国内外の雑誌からの論文資料を随時配付する。 |
| 参考図書等 | 新谷歩「みんなの医療統計 12日間で基礎理論とEZRを完全マスター！」講談社 |

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

予習・復習が必要な場合は、進捗状況を顧みながら内容や範囲を随時指示する。

関連科目

| | | | | | | | |
|-----|---------------|----------------|---------------|--|--|--|--|
| 前科目 | M106 疾病制御学特論 | M107 英文献講読 | M318 病態情報解析特論 | | | | |
| 後科目 | M319 病態情報解析演習 | M321 血液病態検査学演習 | M322 特別研究Ⅰ | | | | |

実務家教員

| | | | | | | | |
|--------------|-------|--------|--|--|--|--|--|
| 医師（医療機関） | 竹内 一人 | 石田 也寸志 | | | | | |
| 臨床検査技師（医療機関） | 祇園 由佳 | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

備考

血液病態検査学特論の履修を前提とする。